

お祝いのことば

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

9年に及ぶ義務教育課程を修了し、いざ学び舎を巣立とうとする皆さんは、とても晴れやかで、かつ誇らしい表情をしていることと思います。

中学校で過ごした3年の間には、さまざまな思い出が詰まっていることでしょう。ときに喜び、また、ときには苦しむこともあったかもしれません。それら困難は、先生方やご家族、そしてたくさんの友人たちに支えられ、乗り越えることができたのだと思います。支えとなってくださった多くの方々への感謝の気持ちを胸に、今日という日を、自分らしく生きていく旅立ちの記念日として大切に心に刻んでください。

保護者の皆様、今日の良き日を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。これから多くの環境の変化を迎えるであろうお子様たちは、期待の中にも大きな不安や戸惑いがあることと思います。保護者の皆様におかれましては、お子様たちの更なる成長に向け、これからも温かく見守っていただきたく、お願い申し上げます。

また、校長先生をはじめ教職員の皆様方のこれまでのご尽力に敬意を表し、心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬご指導を賜りますよう、お願いいたします。

結びに、西洋の格言に“Heaven helps those who help themselves”（「天は自ら助くる者を助く」）という言葉があります。これは、天は自分自身で努力する者を助けて成功させる、という意味で努力することの大切さを説いた言葉です。

今日の門出に、卒業生の皆さんにこの言葉を贈り、輝かしい未来に幸多かれとお祈りして、お祝いのことばといたします。

令和2年3月吉日

東村山市長 渡部 尚

お祝いのことば

皆さん、ご卒業おめでとうございます。

春の気配とともに、卒業の季節となりました。本来ならば直接、お祝いをさせていただきたいところですが、新型コロナウイルス感染拡大の防止に最善を尽くしている最中であり、誠に残念ですが、お伺いすることを遠慮させていただきました。

中学校に入学してからの三年間、勉強やクラブ活動にと、たくさんの思い出をつくることができたのではないのでしょうか。これからも、共に過してきた仲間たちとの友情を大切に育んでください。

皆さんが晴れてこの日を迎えられるのも、先生方の熱心なご指導や、地域の皆さん、そして保護者の皆さんなど、多くの方たちのお力添えがあったからです。今日、この学校から巣立っていきますが、多くの人に助けられているのだということを忘れず、感謝の気持ちや思いやりの心を大切にして、それぞれの道を歩んでください。

最後に、今日まで情熱と愛情をもって生徒に接してこられた教職員の皆様に深い敬意と感謝を申し上げ、お祝いのことばとさせていただきます。

令和二年三月吉日

東村山市議会議長 熊木 敏己

令和元年度 東村山市立中学校卒業式 告辞

本日ここに、東村山市立東村山第二中学校の卒業式が挙行されるにあたり、東村山市教育委員会を代表いたしまして、一言お祝いを申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

中学校の全課程を修了され、晴れの卒業の日を迎えられましたことに対し、心よりお慶び申し上げます。

皆さんは、今日までの中学校生活において、日々の学習や学校行事、部活動、地域での体験学習などを通して、多くのことを学んできました。「他者を思いやり、個人として尊重して接することの大切さ」、「誰かに支えられたり誰かを支えたりする時の心の温かさ」など、皆さんが経験した多くの出会いや学びは、確かな力となり、自信となって、これから進む新しい道を切り拓いてくれることと思います。

さて、今年の7月には、いよいよオリンピック・パラリンピック東京大会が開催され、世界中の人々が日本を訪れます。皆さんにとって、広く世界に目を向けるきっかけになることと思います。

皆さんは、緒方貞子（おがた さだこ）さんを知っていますか。緒方さんは、様々な理由などにより、故郷を追われ、自分の国に住み続けることができなくなった人々を保護し、難民問題の解決へ向けた活動を行う国連難民高等弁務官を日本人で初めて努めた方です。現在、世界には約7000万人以上の難民がいて、その中には18歳未満の子供が多く含まれていると言われていています。緒方さんは、常に難民に寄り添い、難民の命を第一に考えて行動し、日本のみならず様々な国に支援の必要性を訴えてきました。そこには、「大切なことは苦しむ人々の命を救うこと。自分の国だけの平和はありえない。」という緒方さんの強い信念があったと言われていています。そして、昨年10月に亡くなるまで、世界中のあらゆる人々の命が守られ、尊重される社会の実現をめざし、力を尽くされてきました。

オリンピック・パラリンピックは「平和の祭典」と言われています。しかし、世界に目を向ければ、未だに解決していない様々な課題があります。国際社会の一員として、私たちが、その責任を果たしていくために、緒方さんの生き方は、この先の人生を歩むうえで、大きな道標となるはずです。

中学校を卒業し、新たな道に進む皆さんは、今、様々な希望や目標をもっていることでしょう。世界的な視野をもち、その目標に向かって探究を積み重ねて、未来の担い手として大きく成長し、活躍できることを期待しております。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。お子様は、九年間の義務教育を終え、社会への第一歩を歩み出そうとしています。これからもお子様のよさや可能性を温かく見守っていただき、さらなる成長を支えていただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本日まで、卒業生を心優しく教え導いてくださいました渡邊校長先生をはじめ、教職員の皆様、並びに本校の教育の発展のためにご支援、ご協力いただきました地域の皆様方に心より感謝申し上げます。

結びに、卒業生の皆様のご活躍と本校の益々のご発展を祈念し、告辞といたします。

令和2年3月19日

東村山市教育委員会